

溶血性試験

<試験方法>

目的	検体(またはその抽出液等)のウサギ脱繊維血に対する溶血性の有無を調べます。										
方法	<p>試験液 10 mL にウサギ脱繊維血を 0.2 mL 加え、37 °C ± 2 °C で 1, 2 及び 4 時間インキュベーション後、遠心分離して得られた上清について、波長 576 nm で吸光度を測定します。</p> <p>陰性対照液として生理食塩液，陽性対照液として蒸留水も同様に行い（陽性対照液はインキュベーションなし），吸光度を測定し，以下の式で時間ごとに溶血率を算出します。</p> $\text{溶血率(\%)} = \frac{\text{試験液上清の吸光度} - \text{陰性対照液上清の平均吸光度}}{\text{陽性対照液の平均吸光度} - \text{陰性対照液上清の平均吸光度}} \times 100$ <p>以下の表により溶血性の程度をグレード分けする。</p> <table border="1" data-bbox="469 1339 1134 1704"> <thead> <tr> <th>溶血率(%)</th> <th>グレード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶血率 ≤ 2</td> <td>非溶血</td> </tr> <tr> <td>2 < 溶血率 ≤ 10</td> <td>軽度の溶血性あり</td> </tr> <tr> <td>10 < 溶血率 ≤ 20</td> <td>中等度の溶血性あり</td> </tr> <tr> <td>20 < 溶血率 ≤ 40</td> <td>強い溶血性あり</td> </tr> </tbody> </table>	溶血率(%)	グレード	溶血率 ≤ 2	非溶血	2 < 溶血率 ≤ 10	軽度の溶血性あり	10 < 溶血率 ≤ 20	中等度の溶血性あり	20 < 溶血率 ≤ 40	強い溶血性あり
溶血率(%)	グレード										
溶血率 ≤ 2	非溶血										
2 < 溶血率 ≤ 10	軽度の溶血性あり										
10 < 溶血率 ≤ 20	中等度の溶血性あり										
20 < 溶血率 ≤ 40	強い溶血性あり										
検体必要量	<p>24 g (8 g × 3 セット分) または 120 mL (40 mL × 3 セット分) 以上となるようご用意ください。</p> <p>ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。</p>										